

「新庁舎整備事業市民説明会 2021」概要報告
キーワードによる意見交換のまとめ

□主なキーワード

○質問・意見・提案

⇒回答

□整備地（駅周辺）・候補地（4箇所）

○この説明会の内容で、美濃太田駅前に建設することで決定ということか。

⇒あくまで案であり、決定ではない。今後、市民や議会と議論しながら進めたい。

○4つの候補地があったが、駅の北側（スーパー周辺）は建設不可能。候補地から除外すべきではなかったのか。

⇒新庁舎整備基本構想策定委員会から答申を得た段階では可能であった。急速に開発が進んだこともあるが、決して最初から不可能な土地を選んだわけではない。

○美濃加茂市の人口は、北部と南部で2～3倍ほどの差があり、住民サービスからいえば北部が好ましい。美濃太田駅周辺、大手町公園を活用できないか。

⇒美濃太田駅南の新庁舎整備地はすべてにおいて100点満点の候補地ではない。他の候補地と評価項目を考慮して比較した結果、美濃太田駅周辺が新庁舎の整備地として最も適していると評価している。大手町公園は都市公園であり、庁舎を建てるのは都市計画法上困難である。前平公園も同じく都市公園であり、前平公園周辺において新庁舎を整備する場合は、県に貸している県畜産研究所の敷地（市有地）を活用する方向で検討した。

○前平は市所有の土地なのか。

⇒県畜産研究所は市所有だが、県に貸地しており、県からまだ返還されていない。県畜産研究所が関市へ移転後の返還となる。

○他自治体の現場（新庁舎）を見たが、基本的に広い場所へ移転している。なぜ美濃太田駅前という狭い場所に移転するのか。10～20年後、山手や前平方面は栄えていくと思う。駅前だと拡張ができない。一番広い前平にして駐車場も広くつくり、分庁舎もまとめた方が良く考える。

⇒極力コンパクトな庁舎を考えている。10、20、30年後に大きな庁舎が必要かどうかを考えた時に、マイナンバー等の発展などを鑑みると、職員数も削減できると思われるため、大きな庁舎を建てる発想はない。

美濃太田駅前で新庁舎を建設することによって、庁舎の効果を周辺の街に波及させていきたい。前平ではそれが難しい。

○利便性の評価について医療施設を考慮する際は、施設（病院）に行く人の数が大切ではないか。

⇒医療施設の他にも公共施設、商業施設などを鑑みて、利便性全体のトレンドを測って判断している。

○広い土地のところに新庁舎を建てるべきではないか。

⇒美濃太田駅周辺が新庁舎整備地として 100 点満点であるとは考えていないが、各候補地を比較検討した結果、美濃太田駅周辺が最適ではないかと考えている。様々な課題もあると思うが、しっかり対応していきたい。

○（説明会資料をみて）ある程度決まった文章ばかりで、もっとより掘り下げられた情報もあってよいのではないか。4 か所以外の候補地はないのか。

⇒新庁舎整備は 6 年ほど前から進めている。市民ワークショップなどで基本構想において 4 か所の候補地に絞られた。その後に未来のまちづくり委員会や市で様々な角度から検討し、1 か所に絞り込んだ。駅周辺が 100 点満点の候補地とは思っていない。少しでも 100 点に近づくように方策を練りながら整備を進めていく。将来の子ども達にいかに関心を残さないか、経費の面についてもよく検討していく。

○太田町のことしか考えていない。前平の方が良い。太田地区の住民が市役所を離すまいとしているが、太田地区はこれから人口が減り、中部台はまだ増える。人口の多い所に市役所はあった方が良く考える。

⇒太田地区は立地適正化計画でコンパクトエリアに指定されている。コンパクトエリアに様々な都市機能を集約させるだけではなく、サテライトエリアとしての伊深や三和等各地区の（仮）地域協働センターで様々な業務が完結するような、地域課題が解決できるような仕組みづくりをしていく。

前平に新庁舎を整備する場合、造成費だけでも約 16 億円かかる。1 年の市の予算の内、建物建設や道路整備等ハード整備にかかる費用は 15 から 25 億円であるため、16 億円の費用を一度に使うのはどうかと思われる。市の政策として立地適正化計画は、コンパクトエリアに都市機能を集約させ、財政負担を減らし、将来少子高齢化になっても財政の健全化を堅持していくために立てている計画であるため、決して太田地区から市役所を離さないとかそういう考えではない。

○現庁舎候補地では、仮設庁舎は必要ないのではないか。前平候補地は、テラス方式にしたら費用を抑えられるのではないかと。駅北候補地は、今の土地利用が進んだ状態で、比較のために候補地に入れるのは疑問である。

⇒現庁舎候補地の場合、今の敷地を十分に活用していくとなると仮設庁舎が必要であると考えている。前平候補地は、今回、最も安い方法、テラス方式の計画をお示ししている。駅北候補地については、構想を策定する前は建設候補地があったが、現状は無い状態である。これまでの経緯を考えれば、候補地のひとつとして存在していることは当然と考える。

○新聞報道で、市長が理解が深まっていないから“修正すべきものは修正する”と発言していたのは、候補地自体を修正するということか。

⇒未来のまちづくり委員会から答申をもらい、市として精査した結果、美濃太田駅周辺候補地に絞った。こちらが提案した計画にご意見をいただきたい。課題はまだたくさんあると思うので、意見交換をして進めていきたい。

○駅前に市庁舎が移転するということは特異な例だと思う。全国的にもないのではないかと。

⇒最近では、滋賀県米原市が同じように駅前に庁舎を移転した。再開発的に駅前を整備しながら新庁舎を建てた。コンベンション的な機能も整えていて、そこを1つの中心市街地活性化の策とするような考え方で取り組まれている。

○美濃太田駅周辺が最もコストが低いということに、“素直にそうですか”とは言えない。健康第一の市にするのなら、前平公園の中に市役所をつくり、健康を売りにした市役所にすればよいのではないかと。

にぎわいは戻るのか。4つの候補地から1つに絞った時点についてはっきりしない。みんなが納得できる場所を選んでほしい。

⇒市議会で位置条例が可決されるまで決定ではない。前平公園は都市公園であり庁舎を建てる場所には適していない。仮に野球場に建てたなら、他の場所に野球場を確保しなければならない。

今回の再開発は行政ではなく地域の主導で行われている。市としては、しっかり支援、議論をしていきたい。

○若い人から高齢の人まで、新庁舎の整備地を美濃太田駅周辺がいいと考えているか。

⇒これまで実施した出前講座では若い人から高齢の方まで参加されているが、今後も意見交換の場を重ねていきたい。

○説明は理解できた、大事なことはどこに（新庁舎を）建てるかということ。これから先、若い人たちがここに住んでよかったというまちづくりが進むことが大切。
⇒いろいろな評価をした上で、新庁舎の整備地として美濃太田駅前が一番優位であるという説明をさせていただいている。

○建設場所について反対している人もいるが、私には理解できない。未来の子ども達、未来の人たちに何を残せるかを考える必要がある。今は世界的に脱炭素で、車社会はなくなっていく。駅周辺を拠点とした開発をしていかないと負の遺産となる。美濃太田駅周辺に早く決めていただきたい。

SDGs 未来都市モデル事業の自治体に選ばれたことについても期待している。
⇒50年後、100年後にこういうまちづくりで良かったと思われるようにしたい。誰一人取り残さない健康なまちをつくるのがSDGsの原点である。スピード感をもって進めたいが、子育て世代や若い世代ともまだまだ意見交換をしていきたいと考えている。

○出前講座で説明を聞いた時よりも良いものになっていた。どの候補地に建設しても、一長一短であり、駅前に建設することに賛成であるため、この計画通りに進めてほしい。
⇒4候補地を比較していく中で、どの候補地が100点満点だからそこを選ぶということではなく、相対的に評価した結果、駅前周辺が一番良いのではないかとということで説明している。

○水害の危険があるならば、前平公園に（新庁舎を）建てるのが良い。牧野にサッカー場ができるなら、前平公園内のサッカー場のところに建ててもいいのでは。新庁舎が前平にできたら、郵便局や銀行といった施設もそちらに移動するので、そのように新庁舎を北に持っていくことで、新しい街を北につくったらどうだろうか。

○市民が考えつかないことまで考えられていて感心した。総合的に考え、美濃太田駅周辺が新庁舎整備地として望ましいことが分かった。

○美濃太田駅は美濃加茂市の玄関であり、新庁舎を整備した際における波及効果のあるところ、美濃太田駅周辺が最もよい。

□駐車場（配置・台数・駅北）

○駅周辺の来庁者用の駐車スペースはどのくらいか。
⇒市商業ビル南側の民間の土地を取得し、現在のシティホテル美濃加茂の駐車場と合わせて100台程度確保したいと考えている。現在の来庁者の駐車台数の瞬間50台程度と推計している。生涯学習センターの駐車場と共用していることで、駐車場の混雑により

ご迷惑をおかけしている。余裕をもって 100 台程度確保していきたい。

○駅の北側から庁舎へ行くことを考えると駐車場が不足するのではないか。

⇒現在のシティホテル美濃加茂（市商業ビル）が使用する駅の北側の駐車場を活用していく。駅の北側から橋上駅（美濃太田駅自由通路）を歩いていただきペデストリアンデッキを活用して庁舎へお越しいただく、または、駅の南の庁舎に隣接した駐車場をご利用いただきたいと考えている。駅の北側からの来庁者にとっても便利な計画したい。

○昔のようにぎわいを取り戻したいが、駐車場が課題である。駅前に駐車場を確保してほしい。

⇒シティホテル美濃加茂（市商業ビル）に隣接する南の場所を駐車場として整備し、（現在のシティホテル美濃加茂の駐車場である）駅南、駅北の駐車場も活用し、必要な台数を確保していく。

○美濃太田駅北の大手町公園を駐車場にしたらどうか。

⇒大手町公園は都市公園であり、機能を損なうことはできない。シティホテル美濃加茂の駅北駐車場を活用していく。

○駅前の商店街を発展させようと思うと、商店街を利用する人の駐車場も確保する必要があるのではないか。

⇒民間の事業である再開発事業において、立体駐車場を整備する方向で進めている。そうした駐車場を活用できないかと考えている。

○駐車場の確保のために民地を取得し、立ち退きが想定されるのか。

⇒民家のある土地以外の土地を取得することを想定しているため、立ち退きは想定していない。

○駐車場について、美濃太田駅周辺の地主から買うことができるのか。それとも借りるのか。

⇒市商業ビル（シティホテル美濃加茂）南側の土地を取得する予定である。費用などは今後詰めていく。庁舎利用者用として 100 台ほど確保できないかと計画している。駅北側の来庁者のために駅北にある商業ビル第 3 駐車場を整備し、ペデストリアンデッキを通して庁舎へ来庁してもらうことを考えている。

○美濃太田駅南に新庁舎を整備した場合、駐車場を分散して整備するのか。

⇒市街地再開発事業などとあわせて道路整備が進むなかで、新庁舎に隣接した用地を一

部取得して来庁者用駐車場として整備したい。

○山之上から行く場合、高山線を越えて駅の南側へ行くことは不便であり、駅の北側に駐車場をつくるなどの工夫をしてほしい。

⇒周辺の都市計画道路を整備して新庁舎にアクセスしやすい道路体系を目指していきたい。駅の北側にある現在のシティホテル駐車場を来庁者用駐車場として整備する。自由通路を利用して1階に降りることなく庁舎の2階に直接歩いて入ることができるようにペデストリアンデッキを考えている。

○市役所関係の駐車場だけを考えているようだが。

⇒駅南のまちづくり全体の考え方のなか、再開発事業として立体駐車場(居住者・来訪者用)が計画されている。

○木沢記念病院が駐車場を考慮して北方面に移転したことについてどう思うか。

⇒当市には市民病院が無いなか、市民の命を守る拠点として整備していただけたこととは大変ありがたい。

○現在の市役所は駐車場が空いていない。駐車場の確保をお願いしたい。

○都市部では、建物に近い場所は車幅が狭く、建物から遠い場所は車幅を広くしている駐車場がある。そのような工夫もしてほしい。

○来庁者が右往左往することのないように駐車場を整備してほしい。

□防災（浸水・地震）

○浸水の恐れがある場所で、浸水時に防災拠点になりえるのか。

⇒最新の技術等を活用して、(浸水対応型の新庁舎として)12時間の浸水継続時間を乗り越えられるように整備したい。

○木曽川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水は、1000年に1度の確率とあるが、少しでも危険性があるなら、浸水区域の候補地は除外すべき。

⇒浸水した場合に庁舎が防災拠点機能を損なわないこと、そして災害対策本部をしっかりと運用していくことが重要。今は、降雨の予報がかなり早く事前に入手できるため、職員も基本的には事前参集で対応し、地域で避難所を開設したり、被災状況を確認したりすることになる。木曽川洪水浸水想定区域図の想定最大規模の浸水地域に庁舎を整備した場合も、防災機能は十分に果たしていけると考えている。

○分庁舎の安全性はどうか。

⇒分庁舎は平成２年に建設されており、30 年程経過している。長寿命化計画に基づき少しでも長く使用できるように改修工事を行っていく。

○防災拠点を美濃太田駅北側に整備すると聞いていたが、駅の南側の新庁舎が拠点になるのか。

⇒基本となる防災拠点は新庁舎と考えている。文化の森には、自家発電設備、コンピュータのサーバー等の整備を行い、防災拠点の補完的な施設として想定している。

○2029 年度に新丸山ダムは完成予定と聞いているが、ハザードマップはどう変わるのか。

⇒今年度新丸山ダムの本体工事が着工する。現在よりもダムの貯水能力は3.6 倍になるが、想定される最大規模の降雨の場合は、まずは安全に逃げるということを進め、総合的な治水、浸水対策を進めていく。

○浸水被害を考えると、前平周辺の方が良いと思う。美濃太田駅周辺に整備した場合、駐車場も敷地が狭いから立体駐車場をつくることになるが、利用しにくい。駅の北側からの来庁者にも駐車場を整備しなければならなくなる。

⇒浸水に対しては、駅周辺に建設した場合、防災拠点としてはもちろん、市民の避難先にも活用できるように浸水に備えて機能を確保したい。

立体駐車場は市街地再開発事業の中で考えているもので、新庁舎の整備では立体駐車場は考えていない。市商業ビル（シティホテル美濃加茂）南の民有地及び現在のシティホテル駐車場を活用していく。駅の北側にもシティホテル駐車場があるので整備して使いたい。

○新庁舎を浸水に対応できるようにするためには建設費用はどのくらいかかるのか。

⇒浸水対応について、防水壁や防水扉等の設備に若干費用がかかってくるが、基本的に大きな費用がかかることは想定していない。

○太田（新庁舎整備の計画地）は断層の近くなのか。

⇒太田地区に限らず美濃加茂市としては、揖斐川・武儀川断層帯が関係してくる。美濃太田駅周辺だと震度6弱くらいの影響があるだろうと言われている。液状化については地下水位が非常に低いところにあるため、心配はないとされている。いずれにしても、免震構造にするなど大地震にも対応していける庁舎を整備したい。

○消防団の時、太田地区の水害に出動した。実際に庁舎を建てるにあたっては様々な問題点があると思うが、その解決策を教えてほしい。

⇒市民ワークショップ、新庁舎整備基本構想策定委員会では4候補地を選定していた。その後、専門家の方々も参加する附属機関、市未来のまちづくり委員会に諮問し、（新庁舎の整備にあたって）美濃太田駅周辺（が最適である）との答申をいただいた。課題としては駐車場、浸水害などが示された。駐車場は、新庁舎の近くに多くの台数を確保したい。また、新庁舎が防災拠点としての機能を果たすことができるように、機械設備を（浸水の恐れのない）上階に配置するなどして整備を進めたい。

○去年の7月、今年の8月の河川の増水はものすごい水量が出て怖かった。下米田地区も相当危険な地区のため、関西電力と連携し、洪水被害を抑えるような対策をしてほしい。

⇒新丸山ダムの整備が始まっている。完成すると、9.28 災害の雨量でも河川の増水を抑えることができるようになる。また、流域治水ということで、木曽川流域において国や県、電力会社等各企業等と連携し、増水の恐れがある場合は、事前放流をすることで浸水被害を軽減する対策もしている。

○もし市役所が美濃太田駅周辺以外にできれば、駅周辺には垂直避難できる場所がなくなる。駅周辺以外の候補地のライフサイクルコストには、そういった垂直避難ができる施設を整備する費用は含まれているのか。

⇒例えば前平周辺に新庁舎を建てるのであれば、（市商業ビルに加えて）民間の施設を活用することなども考えていくが、ライフサイクルコストには入れていない。災害の低減をしっかり考えていく。

○浸水時にペDESTリアンデッキを利用して水平避難することは無理では。

⇒浸水の深さが10mになってから移動するのではなく、浸水の恐れがあるとき、事前避難に活用したい。

○水害の恐れがある時に緊急車両を前平に移動させるのなら、前平公園周辺に可茂消防（中消防署）を建設し、そこに市の防災安全課を配置すれば良い。

⇒（可茂消防事務組合管理者として）可茂消防事務組合では、深田町にある消防本部などを移転するという計画はあるが、今後検討していきたい。

○雨水排水管が商業ビルの下を通っているが、加茂川に流れていくのか。

⇒駅南の駅前広場と商業ビルの前の道路に雨水の幹線があり、加茂川へ流れていく。また、商業ビルよりも少し南へいくと、木曽川へ流れるように雨水を処理する雨水管がある。

○災害対応についてしっかり説明してもらえると、安心安全な庁舎についてもっと理解してもらえる。

⇒地震に対応するため、新庁舎では免震構造を整備していきたい。浸水害については、9.28 災害は計画規模（100 年に一度の発生確立）と同じ程度の浸水であったが、新庁舎の整備では、1000 年に一度の発生確立といわれる想定最大規模の浸水に備え、その場合も防災拠点としての機能が存続できる浸水対応型の庁舎を整備したい。

○治水や洪水の問題等があるが、新丸山ダム等の整備も進む。今の世界や日本の技術を使い、対応できる施設にすれば良い。

⇒新丸山ダム完成によって水位は約 2.7m 下がると予想される。また、これまでは実施が難しかった、ダムにためた水を事前に流して貯水量を下げ、ダムの水をためる能力を高めるという事前放流に関する協定を結ぶことができ、国土交通省が責任を持って対処するという体制が整っている。

○美濃太田駅の南は浸水想定区域ということであるが、木曽川への排水ポンプが足りないことから想定されているのであれば、ポンプの増設や堤防をつくることも大事ではないか。

美濃太田駅の南に庁舎を建てるのであれば、駅を横断して車で南北に行ける道路はどうか。

連絡所をリモートの使えないか。歩いて行ける距離に市役所の機能があるということが大切ではないか。

⇒加茂川の排水ポンプは増設を繰り返しており、現在は最終の形である。堤防の一部は完成していないが、現在は流域治水という考え方が主になっており、これは雨を待ち受けるという考え方。降雨や避難に関する情報を早く伝えること、早い避難行動を促すことが大切である。

サテライト構想を進め、サテライト拠点である（仮）地域協働センター（連絡所）で行政サービスが完結できるようにしたい。

○加茂川の近くに住んでいるため、大規模な造成、埋め立てにより川の増水に影響がある前平に建設することは避けてほしい。災害時は前平にテント等で避難所を作ったらどうか。

□アクセス（道路）

○高齢者・身体の不自由な方にとって、美濃太田駅の北側から線路を超えて駅南に歩いて行くことは厳しい。線路をまたぐような道路の整備計画はあるか。

⇒美濃太田駅の北側には、北部からの来庁に備えて、現在のシティホテル駐車場を活用し

て来庁者用駐車場を整備する。南北をまたぐ新たな道路整備は費用面等からも難しいが、駅の南側では新庁舎にアクセスしやすいように道路体系を整備していきたい。

○駅前の道路の広さはこれまでどおりか。

⇒現状の車道の道路幅は 13m。歩行者優先道路を検討している道路の幅は 18mであり、規制をかけていく予定。新しく整備する道路は 9m程度の幅員を考えている。現在の市商業ビル（シティホテル美濃加茂）北側と駅間の道路幅は 12mである。周回する道路は普通車が十分すれ違える幅員を確保したい。全体的な道路整備、規格の中で警察等関係機関とも協議しながら進めていく。

○シティホテル美濃加茂の第3駐車場は侵入道路が狭くて使いづらいと思う。また、第3駐車場付近は通学路であり、歩行者、自転車が多く危険である。駅北側から南側へのアクセスを考えた場合、やはり太い幹線道路が1本必要だと思う。

⇒第3駐車場へは駅北側ロータリーから直接の進入を考えている。利用のしやすさはもちろん、安全対策についても十分配慮し、道路整備と併せて駐車場を整備したい。駅の北側から南側への新たな道路の整備は困難である。南側に来ていただいてからの新庁舎へのアクセスを良くするための道路整備を行っていく。

○新庁舎を整備する場所は、北から行く人にとって寄り付きやすい所が良い。美濃太田駅は伊深からでは少し遠いと感じている。駅の北側に駐車場を設けると思われるが、そこまで行く間に通る山手線はかなり混んでいる。

⇒道路は都市計画道路等を順次整備していく。美濃太田駅北側にある市商業ビル第3駐車場を整備し、ペDESTリアンデッキで来庁いただく仕組みをつくりたい。駅の南側にも十分な台数の駐車場を整備していくが、北からの来庁者のための整備についてもしっかり考えていきたい。

○中部国際医療センターという立派な病院ができて、これは美濃加茂市の誇りだと思う。しかし、周辺の交通渋滞が懸念されている。住宅はもちろん、周辺の企業や商業施設など全てがこの交通渋滞に関係しているため、行政と一体となった話し合いをしていたき渋滞の心配を解消してほしい。

⇒中部国際医療センターと市と地域の方々と協議会をつくって対応したい。すでに車ではない移動手段ということでシャトルバスの運用や将来的には自動運転バスで移動をする等検討を始めている。また、関係機関とも信号処理による規制等について相談している。

○新庁舎の場所は、美濃太田駅前で確定しているのか。歩行者天国はよい考え方である。自動車は歩行者天国の通りに入れないようにして、裏道を利用できるようにしたい。

⇒新庁舎整備と再開発事業は別事業ではあるが、まちづくりとしては一体的に考えていく必要がある。駅南の道路は、歩行者優先道路として整備したい。自動車の場合、周辺の整備された道路を利用して庁舎に来ていただきたい。

□アクセス（鉄道・バス）

○美濃太田駅周辺に整備するということなら近隣市町村と連携し、ＪＲと連携して鉄道の利便性を向上させてほしい。

⇒利便性向上のため、ＪＲ側と協議をする機会がある。新しい環状線のような形は難しいかもしれないが、便数を増やす等色々な方法で利便性の高い状態にできるよう要望していく。今後も近隣市町村と協力して、ＪＲが少しでも市民に活用していただけるような路線になっていくように働きかけていきたい。

○最初は美濃太田駅北側スーパー周辺が良いと思っていたが、比較資料を色々見た結果、美濃太田駅が良いかと。自分の勤務地は名古屋だが、美濃太田駅（ＪＲ）は乗り継ぎが良くないため名鉄を利用している。美濃太田駅の利用者が増加しないとぎやかにならない。鉄道会社に依頼し乗り継ぎを良くしてもらいたい。

ここ数年でオフィスの在り方は変わってきている。ＩＴ／ＩＣＴを使って市役所に行かなくてもできることが増やせる。住民のニーズも変わってきている。大きな市役所は不要である。今回の説明会は整備地や箱（建物）の話が中心であったが、次の機会があれば、ＩＴ／ＩＣＴによって、市役所に行かなくても、ますます住民サービスができるようになるという話を聞きたい。

⇒美濃太田駅との連携について ＪＲ 東海との協議を始めている。鉄道の利便性向上もはかっている。

マイナンバーカードの普及が進んでいる。職員が求められることは事務的なことから市民と一緒に地域課題を解決するために、現場に行って汗をかくことへと変わっていく。（仮）地域協働センターへの勤務やテレワークの活用も進めば、本庁舎に常駐する職員は減ってくると思われ、よりコンパクトな庁舎になるものと思われる。

○あい愛バスについて、一度美濃太田駅まで出ていかないと（乗り継がないと）辿り着けない場所（目的地）がある。改善する予定はあるのか。

⇒あい愛バスの路線系統などは、少しでも目的地までの時間を短縮できるような方策を色々考えており、利用者は増加してきている。財政的なこともあり、便の本数を増やすことは難しいが、これからも少しでも多くの皆さんに利用してもらえるよう、仕組みや

路線を考えていきたい。

○北部地区はあい愛バスが大切。あい愛バスが足りていない。

⇒伊深などサテライト拠点で市役所の手続きなどが済むようにしながら、あい愛バスの利便性も高めていく。

□コスト比較

○市商業ビルの機能を維持する 30 年間の維持管理費として 30 億 8000 万円が美濃太田駅周辺を除く他の 3 候補地にかかるのはおかしいと思う。

⇒3つの候補地（現庁舎周辺・駅北スーパー周辺・前平公園周辺）に新庁舎を整備する場合は、商業ビルはそのまま活用していくという考え方である。（商業ビルのコンベンション機能は美濃太田駅前が必要であるという共通の前提条件の認識から）駅周辺に整備する場合は、商業ビルを解体するため維持管理費はかからない。

○用地購入費には駐車場の整備費用は入っていないのではないかと。

⇒駐車場用地にかかる費用も入っている。

○25 億円の財政調整基金を維持していくというが、市債は返せるのか。

⇒将来負担比率は、現在マイナス 44.7%である。新庁舎の整備にあわせ、将来負担比率は上昇するが、0%を超えることはないの見通しをもっている。よって、（将来において過度な財政負担となることなく、安定して）返済していける見込みである。

○市民税が上がるということはあるのか。

⇒新庁舎整備事業によって市民税を上げることはない。

○広報紙には市債は 320 億円と記載があり、減少傾向というのは。

⇒市債には（地方交付税の不足分を賄う為に国が措置する）臨時財政対策債もある。説明会資料では、一般会計において市税を中心とした財源によって返済していく事業債を表示しており、その減少傾向が続く見込みである。

○財政が厳しい中、新庁舎整備をするよりも先にライフライン、道路などから優先的に整備していくべきでは。

⇒（道路などのインフラも）長寿命化計画に基づき、事故などによってライフラインが止まることがないように計画的に整備していく。インフラ整備等に負担がかからないように配慮しながら、新庁舎事業を考えていきたい。

○市の商業ビル維持に今後 30 年間でおよそ 30 億円かかるということは 1 年間で 1 億円かかるという単純計算だが、どのように使われるか明示されていない。具体的な金額を教えてください。

また、市商業ビルに入居しているテナントなどへの補償はどの程度の金額と考えているか。

⇒市商業ビルの維持管理費用、今後 30 年間でおよそ 30 億円という金額は、市商業ビルを仮に今後 30 年存続させた場合、必要となる内装や外装、電気設備、空調等の設備の整備費用、施設整備費のみを計上している。30 年継続するとなれば、その運営費もプラスした金額が必要となる。

市商業ビルの関係者への補償は、法的な視点を踏まえて調査研究を進めており、今回の資料では経済性、用地購入費に概算金額を計上している。

○駅北に庁舎をつくり、市商業ビルも解体してはどうか。そうすれば維持費の約 30 億円は不要になる。維持費の 10 分の 1 の解体費用だけで済む。

また、職員駐車場はどこに確保するのか。

⇒新庁舎の上階に商業ビルのコンベンション機能を整備し、商業ビルの機能の一部を継続していきたい。この機能は市だけでなく中濃圏域を含め多くの方が利用しており、観光・交流の発展に為、必要な機能と判断している。商業的機能も庁舎の 1 階等に整備したいと考えている。駅北に庁舎をつくり、商業ビルを解体する選択肢もあるが、美濃加茂市の玄関口で顔となる美濃太田駅前の立地条件を地域の活力、まちのにぎわいとして活かしていくべきと考えている。

職員駐車場については、現在も民間の駐車場を借用している。駅南に移転した場合も同じ駐車場を使用する予定である。

○前平は工事費用が多くかかるとのことだったが、駅前でも治水工事、市商業ビル（シティホテル美濃加茂）の解体からの整備で費用がかかるのではないと思うが、それらの費用は含まれているのか。

⇒各費用を全て含めて算出している。美濃太田駅周辺候補地が 100 点満点ということではなく、各項目を比較検討した中で一番良いと判断した。コンベンション・商業機能・庁舎という複合施設を建てることによって、経費や土地利用の効率化を図りながら進めていく。

○庁舎とシティホテルとは切り離して考えるべきだが、シティホテルの補償の費用は試算に入れるべきである。

美濃太田駅前の再開発事業には多くの費用がかかると思われるが、市債が少ないのではないか。

⇒候補地の経済性の比較においては、新庁舎の整備費用として整理した。シティホテルなどの補償費用も試算に含んでいる。商業ビルについては、建物の維持費が30年間で30億8,000万円かかるという試算を反映し、駅前にはコンベンション機能が必要であるという共通の前提条件で各候補地を比較している。よって、美濃太田駅周辺以外の候補地では商業ビルの建物を維持する費用を設定している。

広報に掲載した市債には臨時財政対策債も含まれているが、対策債は国が地方交付税の不足を補完する市債であるので、今回はよりわかりやすくするため事業債のみを整理した。なお、事業債のうち2割程度については地方交付税として国による措置が見込まれる。

○美濃太田駅周辺のランニングコストが低いが、ペDESTリアンデッキ等の費用が追加で必要になるのでは。

中心市街地に市庁舎をつくることは大賛成。岐阜市の中心部が寂れたのは県庁が郊外へ移転してしまったから。ぜひ中心市街地に新庁舎をつくってほしい。

⇒ライフサイクルコストは、商業ビルの建物機能の維持費用をあわせて考え、美濃太田駅周辺で整備する場合、商業ビルの機能の一部を引き継ぐ多機能な庁舎建物を整備することによってもコストが低く抑えられている。ペDESTリアンデッキの費用はコスト比較に含んでいる。また、駅周辺の道路整備にかかる費用も市の事業債等の財政見通しの中に含んでいる。

○駅前に新庁舎を整備し、駅前通りが歩行者天国のようになることを想定しているが、費用はどのくらいか。また実現性はどのくらいあるのか。

⇒新庁舎の整備と市街地開発は同時進行で進めていきたい。仮に新庁舎が駅前にできなくても市街地再開発事業、都市計画道路整備は行われ、相応の市の負担は発生する。

○（美濃太田駅周辺は）ライフサイクルコストが一番低い候補地とされているが確かか。

⇒詳細な設計ではないため、多少の金額のずれは生じるかもしれないが、一つひとつ積み上げて計算しており、傾向は変わらないと思われる。庁舎建設に対する補助金はないが、周辺の整備（コンベンション機能など）には補助金を得られることも駅周辺で整備する優位性である。

○美濃太田駅周辺候補地では、1,500㎡買い取るというのはどの土地のことなのか。1億4,400万円の土地購入費とのことだが、路線価からすると高いのではないか。

⇒シティホテル美濃加茂の南側の土地である。区分所有者からの買い取りやシティホテルやテナントの補償費も土地購入費に含まれている。

○職員駐車場を借りることにより、将来の世代に費用負担の影響があるのでは。

⇒職員駐車場は、現在使用している駐車場を引き続き使用する。コスト比較においては借用費用を含んでいる。財政負担の軽減は大切であり、いかに費用を使わないで新庁舎を整備するかを考え、将来の子ども達や孫たちに新庁舎が整備されてよかった、と評価してもらえるようなものをつくりたい。

○美濃太田駅周辺での整備費が、他の候補地での整備費と比較してどれだけ低いかわかりやすく教えてほしい。

⇒最も費用が高い前平周辺候補地と比較して、ライフサイクルコストで考えた場合、約 36 億 4800 万円の差があり、イニシャルコストで考えた場合では約 16 億 3200 万円の差がある。

○市民の代表としての市議会議員がいるため、市議会で決めてよいと思う。費用については、資料をみても 100 パーセント理解できないが信じて任せる形でよいのでは。

⇒費用の積算は、繰り返し計算しているが、さらに研究し、これからも責任をもって出していきたい。また、一人でも多くの方と意見交換をして進めていきたいと考えている。

○新庁舎整備事業に関しては市の財政が心配である。子や孫の世代まで借金を残してほしくない。

□機能（新庁舎への導入機能）

○新庁舎が建つのは最短でいつになるのか。

⇒シティホテル美濃加茂（市商業ビル）は、そのほとんどが市の建物なので、市が建物を維持管理していく必要がある。さらに運営経費もかかってくる。効率のよい行政運営をしていくために、いろいろな公共施設の複合化を進めていきたい。新庁舎は、最短で新庁舎整備基本計画策定から約 6 年後、令和 9 年頃に完成する予定である。

○現在の庁舎は手続きごとにたくさんの部署に移動しなくてはならない。新庁舎ではワンフロアに集約するような考えはあるのか。またアテンダント（案内人）を常駐させるような予定はあるのか。

⇒現庁舎では手狭であるため、ワンストップ、ワンフロアのサービス展開は困難であるが、新庁舎では導入を考えていきたい。アテンダントについても検討をしていきたい。

○ほとんど市役所に行ったことがない。証明書等の取得は連絡所で事足りてしまう。これからは DX 等で手続きのために市役所に行くことは少なくなる。その分まちづくりの仕

事が市役所の仕事となるので、民間と連携して素晴らしい街をつくってほしい。前平では民間と連携したまちづくりはできないと思う。

⇒最近ではマイナンバーカードを利用すれば住民票などをコンビニで取得できるため、市役所に来庁することはますます減ると考えている。その分、職員は地域課題解決のために、市民に寄り添った仕事为主体となってくる。

○説明会資料の新庁舎のイメージ図を見ると、近未来的ではあるが無機質な感じがする。市の自然を活かした、小学校の机に市の木材（アベマキ）を使用したりしているというように、文化を活かしたまちづくりということでも、木材をふんだんに使った庁舎を建ててほしい。

⇒里山千年構想を推進する観点から、里山を活かした、木材を活かしたまちづくり、教育に取り組んでいる。地元産を中心とした木材を活用するという提案は素晴らしいと思う。今後、実施設計をしていく際に、木の活用についても検討していきたい。

○一目見て親しみが持てるような、子育て世代が使いやすく、温もりが感じられるような庁舎を検討していただきたい。

⇒実施計画や設計の段階に入ったら、そのような意見を積極的に取り入れるよう前向きに検討していく。

○基本構想策定時にメンバーとして参加した。かなり時間をかけて4か所を選定し、答申した。さらに検討を重ねて、1か所に絞っていただき感謝している。個人的には駅前での建設がベストだと思う。コンベンション施設は必ず備えていただきたい。サテライト機能が進展していくと、よりコンパクトな庁舎にできるのではないかな。

⇒コスト面では将来的な負担を減らせるように、必要最小限の規模の庁舎とし、サテライトを活かしながら庁舎機能の確保を進めていきたい。DXの進展で職員数が少なくなっても機能するようになっていくと思われる。コンベンション機能については、庁舎の事務スペースや市民の交流スペースなどをふまえて検討していく。

○庁舎フロアの一部をデジタル関係の方に貸し出せば、そこに勤務する人が山之上や三和の住居を借りることで新しい人流ができる。ホテルのコンベンション機能も残しておけば、災害時には市職員の仮眠の場になる。

⇒庁舎建物の構成については、にぎわいの拠点として商業的な機能と現状のコンベンション機能の継続、整備を考えている。将来的に庁舎に勤務する職員が減った場合は、ご提案のフロアの一部を民間に活用いただくことも含めて柔軟な対応をしていきたい。

○美濃加茂市は加茂郡・可児郡を含む圏域の拠点都市だと思う。コンベンションホールを設けて、広い地域の方がそこで会議をしたり色々なことができるようにしたりすることを美濃加茂市がすべきである。

⇒今までシティホテル美濃加茂に、美濃太田駅前の顔としてコンベンション機能を一生懸命運営してきていただけた。この機能は存続したいと強く思っている。新庁舎とあわせた複合型の施設ということになるが、財政的な効率も考えながらしっかり運営していけるようにしていきたい。

○外国人が多い市なので、外国人にも優しい分かりやすい庁舎にしてほしい。

⇒ユニバーサルデザインを取り入れ、様々な方からの意見を参考にし、全ての方に利用してもらいやすい機能を考えていきたい。

○市民交流スペースはどこになるのか。

⇒コンベンション機能に加えて、商業的機能も市民交流スペースであるが、商業ばかりではなく子育て中のお母さん方が集まったりするようなスペースも含めた整備を考えている。

○他自治体の新庁舎建設での成功や失敗を活かしている部分はあるのか。

⇒他自治体の新庁舎整備については、他自治体の担当者からもしっかりヒアリングし、常に研究し、事業に反映していく。例えば、新潟県新発田市は中心市街地に新庁舎を建設し、複合的な機能をもたせ、広場機能等を市民に開放している。愛知県半田市は津波が想定される区域に建設し、避難施設としても活用している。そのほかにも市の中心部に建設している自治体が多いように思われ、庁舎の効果を周辺に波及させていく狙いを感じる。ぜひ皆さんからも意見をお寄せいただき、美濃加茂市らしい庁舎をつくりたい。

○現在は道路が整備されていなくて、不便である。建物だけできて、道路ができなかったということがないようにしてほしい。長井市も駅前での新庁舎の計画があるが300台駐車場を設ける。日常使用する駐車場に加え、にぎわいを求めて人が集まることを考えると駐車場が小さすぎるのではないか。1つの案だが、ロータリーをうまく活用し、再計画をしてはどうか。新庁舎を西向きではなく、横長にして南向きにし、2階ペデストリアンデッキをにぎわいの広場として色々なところにつなげてはどうか。西向きの建物は電気代、空調費等維持費がすごくかかる。駅南に建てるのであれば道路と建物の向きを再検討し、ペデストリアンデッキを作るよりも2階ベランダを広くとり、下はロータリーで、上は公園スペースにして全部つなげてしまうというのはどうか。駅と一体化した庁舎を建設した市もある。全国の事例を参考にしてはどうか。

また、駅南では将来的に建て替える場所がない。将来的なことや安全性を考えても一段

上がった北の方に建設してはどうか。分庁舎は本来新庁舎ができるまで使用する目的であった。長寿命化すべき建物ではない。新庁舎の計画に組み込んでどうか。

⇒美濃太田駅周辺整備の将来像として、特に食と健康にこだわったまちづくりを進めていきたい。今後は特に、将来を担う若い方たちが実際に何を求めているのかを聞いていきたい。道路体系などもしっかりと決めて、新庁舎をつくっていきたい。

⇒道路整備の計画は市街地再開発事業と合わせて行うものと、都市計画道路として市が整備するものがある。新庁舎の整備スケジュールは位置が決まってから6年ほどかかり、市街地再開発事業は準備組合が立ち上がり、組合として成立すれば比較的早期に面整備が進んでいくと思われる。道路整備も同タイミングとはいかないかもしれないが、数年の差で整備できるのではないかな。

ロータリーは当初活用できるよう検討していたが、現在は難しいと考えている。庁舎を西向きになど、いただいたご意見を実施計画や基本設計に反映できるようにしていきたい。

○美濃太田駅と新庁舎をつなぐことは実際にできるのか。

⇒JRと協議、確認しながら進める事業。計画の考えは既にJR側には伝えている。

○（ペDESTリアンデッキについて）JRへの説明が遅いのでは。4候補地で駅前周辺が挙がった段階で話すべきではないのか。

⇒駅前候補地が最適地となり、ペDESTリアンデッキで駅と庁舎をつなぐ構想が出た時点でJR側に伝えている。

○（ペDESTリアンデッキの）工事はJRの関連業者が行うのか？

⇒鉄道の運行の安全を確保しなければいけない箇所はJR関連の事業者が行うことになる。市の所有箇所でもJRが行うという決まりは特段無いが、列車や線路に影響がある部分はJR側と協議の上進めていく。

○大垣市の新庁舎に行ったが、駐車場が多く、表も裏も出入口があって、中に入ると大垣共立銀行があたりして、とても使いやすかった。市の新庁舎担当者は他市の庁舎を見て参考にしているのか。

⇒大垣市を含め、岐阜県内外の多数の庁舎を視察した。大垣市については中心市街地に新庁舎を建設し駐車場を周りに配置して整備している、公園など街づくりと一緒に整備するなど、当市が計画する内容と共通する部分も垣間見えた。また、以前は郊外へ市役所を移転するというのが非常に大きなトレンドだったが、最近は大垣市のほか、県内だと岐阜市、各務原市、羽島市等も同じで中心市街地の中に市役所を再整備することにより、街の活力に活かしていくという考え方が見えてきている。

○美濃加茂は非常に様々な支援が多いと感じている。子どもが、みんなが来たいと思う幸せな街が良いと言っていた。新庁舎は子どもたちの負担が将来増えるかもしれないが、総合的に見て一番良いところに建ててほしい。

屋上の活用は考えているのか。

⇒今回の基本計画として提案している美濃太田駅周辺というのが、総合的に判断して最適地として市民の皆さんに説明している。

今回の説明会の中で若い方からも屋上を活用してほしいと意見があった。積極的に活用していきたいと考えている。

○新庁舎のイメージパース図を見るとデザインに斬新さが少ないと思う。現庁舎が出来たとき、当時小学生だったが、屋根の形などすごいインパクトがあった。多少の費用がかかっても、斬新な将来を見据えた良いイメージの建物にしてほしい。

○職員が幸せを感じられるような新庁舎にしてほしい。職員が生き生きと仕事をしていれば、きっと空気感が変わってきて、来庁者にも伝わり、自然とにぎわいも生み出せるのではないかと思う。

○良い職員を確保するためにも、働きやすく魅力ある市役所庁舎を建設してほしい。駅前に建設することで多方面から勤務でき、より良い職員を確保することができるメリットもあるのでは。

□規模（面積等大きさ・分散配置）

○分庁舎は借地であれば新庁舎に組み込んだ方が良いのではないか。

⇒分庁舎は市有地にある。新庁舎は分庁舎を活用することで極力コンパクトにしたい。分庁舎は長寿命化計画に基づき今後 15 年程度は使用していきたい。住民票等がコンビニ等で取得できるようになったように、その間に行政サービスも変わり、場合によっては来庁者や職員ともに減少する可能性もある。将来的なサービスの変化や職員数を考慮しながら効率的に行政機能の確保を進めることで、事業費を抑えていきたい。

○美濃太田駅の北口は電車やバスを利用する学生が多く、にぎわっている。駅を通じた南北を整備するということで、北側に分庁舎や生涯学習センターをつくってはどうか。旧庁舎（現庁舎）はどうなるのか。生涯学習センターは駐車場が狭いので旧庁舎の場所に移したらどうか。

サテライトの話は新庁舎整備と関係なく、来年度からでもできるのではないか。予算や職員数等検討事項は多々あると思うが、山間部の住民としては新庁舎よりも興味深い

ので、今後も情報を発信していただきたいと思います。

⇒美濃太田駅北側の整備については用地や費用の課題がある。大手町公園も含めて北側の活用についてはこれからも考えていく。

今の分庁舎は、これからもできる限り長く使いたいと考えている。

現庁舎は新庁舎整備後に解体する予定である。現在は、現庁舎と生涯学習センターの兼用駐車場であり、混雑等のご迷惑をおかけしているところだが、現庁舎の跡地には公共・公益的施設を整備できたらと考えている。

サテライトの考え方は伊深地区にとっても重要である。マイナンバーカードの普及等により庁舎に人が来る機会はこれから少なくなると考えている。地域のことを地域で解決していくことを進めていきたい。予算配分や人員配置を検討していくが、伊深地区なら伊深地区の中で、サテライト機能が発揮できるような仕組みを皆さん方から色々な提案をいただきながら考えていきたい。

○市の執務スペースは、他に色々な機能を入れるとすると不足するのではないかと。

⇒執務スペースは今よりも広くなる計画である。1～5階が執務スペース、6階がコンベンション機能、道路に面したところに商業機能という構想であり、今後具体的な設計等でどういった形が一番良いのか検討していく。

○コンパクトな市役所が良いと思う。

□現在の市役所業務

○休日や夜間の機能は、新庁舎を整備する前（現庁舎）でもできることがあるのでは。今は休日・夜間だと手続き等ができなくて不便である。

⇒現庁舎でも休日・夜間窓口の自動交付機で住民票などの発行は可能である。それ以外の休日・夜間サービスについては、今後も新庁舎の整備にむけて検討していく。

□現庁舎敷地の活用

○駅周辺に新庁舎が建設された後、現庁舎はどうなるのか。

⇒解体する予定。その後、敷地は公共的な使い方ができたらよいと考えている。生涯学習センターは継続して生涯学習施設として活用する。

○現在の生涯学習センターはどうなるか。

⇒そのまま継続して生涯学習施設として使用する。

□説明会（方法・回数）

○説明会が各地区 20 人限定という理由を知りたい。多くの人に聞いてほしいのであれば、

もう少し大きな会場で開催してはどうか。57,000 人の人口に対して、対象者が少なすぎる。

⇒新型コロナウイルス感染症への危機感を緩めることなく説明会を開催するため、また、仮にこの説明会で感染者が判明した場合の対処を迅速に行うために 20 人定員とさせていただいた。この説明会だけではなく、出前講座の開催を今後も継続していくのでぜひご活用いただきたい。

○今日は若い人がいない。若い人の考えも取り入れていただけるとよい。

⇒若い人の意見もしっかり聞いていきたい。

○説明会があることの周知が不十分だと思う。対象者（定員）が少ない。

⇒コロナ禍でより良い方法を検討し、最善の形として判断し、開催した。市内一斉に案内するために新聞折込チラシでお知らせした。また、前回説明会の参加者数よりも多い人数を定員として募集している。今後も出前講座を開催していく。

○前回の説明会よりも相当改善されている。市民の声をよく聞いて改善していることを評価したい。

⇒出前講座等も活用しながら、さらに多くの市民の皆さんに十分ご理解いただけるように対応していきたい。

□住民投票（意向調査）

○住民投票は行うのか。

⇒市民への理解が浸透していない現段階での住民投票は考えていない。まずは市民へ理解してもらうことを広めていきたい。

○市民投票や住民投票を行わない理由は。

⇒議員のみなさんと議論を深め、議会で決定いただくことが重要である。ただ、それを決める時に一番大切なことは、市民のみなさんに理解していただくことであり、今回も 20 回の説明会を開催しているが、ご理解いただけるように努力していきたい。

○新庁舎の整備について理解がされていないのでは。自分の周りには反対される方が多い。住民投票とまではいわないが、ある程度全市民が参加するアンケートをすべきではないか。

⇒説明会が終わった後も、出前講座等で多くの市民と（理解いただけるように）意見交換をしていきたい。

□再開発（市街地再開発）

○（新庁舎整備事業を）再開発事業とは切り離してほしい。

⇒市街地再開発事業は民間の事業であり、新庁舎整備事業とは別事業である。

○候補地の比較の中で、駅前に商業施設（再開発事業）ができるという仮定の効果がある。商業施設が倒産するとか、再開発事業の計画が進まないと、市庁舎だけ残ってしまうことにならないのか。

⇒確かに市場性のある事業というものはリスクがあるが、できる限り様々なリスクを含めて検討し、計画していく。

○美濃太田駅前の整備にあたっては、地権者の意見等もあり都市計画と一緒に進めるには非常に時間がかかるのではないかと。また公共交通機関を使って市役所へ来る人がいるのか疑問である。

⇒市街地再開発事業は、これから手続き等まだまだ時間がかかると思われる。今回は市が中心ではなく、民間が主体となった事業であり、地権者の同意を得ながら進めているので進捗が早くなるのでは、と期待している。市としては、これからの子ども達が住みたい、行ってみたいと思うまちづくりを進めていきたい。

○（市街地再開発事業の）商業ビルに図書館を入れるのか、図書館を入れるということを聞いている。

⇒市街地再開発事業の商業棟に図書館が入る予定はない。公共公益施設の中には銀行や図書館などという意味合いはあるが、図書館の移転という計画を市として今は持っていない。市街地再開発事業について、公共公益部分にどのようなものが入っているのか、例として図書館や教育施設を挙げている。今後、組合が一番条件の良いもの、街づくりに必要なものを考えていく。

○市長との懇談時に、中央図書館を解体し商業ビルへ持っていくと聞いた。なぜ中央図書館の外壁を直しているのかと思った、ということなのか。

⇒中央図書館を数年間存続させていくために、改修工事を行っているところである。10～15年後には中央図書館を無くし、図書機能を民間にやってもらう可能性があるということをお話した。決定しているわけではない。

○数年前に新庁舎は一部の民間業者を助けるためにやるのではないかと聞いたことがあったが、再開発の話聞いて繋がった。駅周辺での整備というのは、結論ありきで決まったのではないかと。健康のために歩くまちづくりは大切だと思っている。資料の駅前のイメージ図を見ると胸がわくわくする。しかし、いくら素晴らしい街をつくっても人流

がなければにぎわいにならない。40 年以上前の再開発も 15 年程は良かったが、だんだん寂れてシャッター街になってしまった。新しい街が 5～10 年で寂れてはいけない。駅前商店街を含めこの計画を再考し、もっと研究してほしい。

⇒わくわくするとの声をいただいた、こういう将来への期待が一番大事である。40 年ほど前に駅前再開発事業を行い、その時、その時代に合った駅前の整備を進め、経済を守ってきたが、時代の流れとともに求められるものは違ってくる。未来の子どもを守るために変化を恐れず、新しいものを求めることも必要である。将来負担比率ゼロを超えないように、将来の子どもや孫に負担をかけないように進めていく。民間との連携も必要である。

先日、名古屋の大学の学生たちに街並みをどうするとよいかということを知り、色々なご提案をいただいた。バスを使って高齢者の方にお越しいただけるような環境を整備すれば、必ず駅から中山道までの区間に色々なにぎわいができるのではという提案もその一つである。20 代の若者たちも駅から中山道を歩き、わくわくする思いを持たれたということなので、将来、美濃加茂市に住みたいと思ってもらえる街をつくっていききたい。

○市の責任で駅前を再開発する必要はない。

ペデストリアンデッキ等に無駄なお金は使うべきでない。税金は必要のあるものにのみ投入すべきである。例えば、市内西町の基幹道路は十分に整備されていないというように他地域の整備にお金を使うべきである。

新庁舎は前平につくるのが良い。

⇒新庁舎を前平につくるには、およそ 16 億円もの造成費が必要となる。大きな費用をかけると地域の道路整備に十分な予算を充てられないというようなことが起きる可能性がある。コストの面も比較して駅前が一番適していると考えている。

○新庁舎が建つことによる民間企業の関わりや利益は。

⇒庁舎内に商業的機能を取り入れることで、にぎわいの創出や将来的な税収入にもつながるように検討している。また、市役所に人が集まることで、その周辺に出店する事業者も増え、周辺民間企業の利益も上がると想定している。

⇒市街地再開発事業として、権利者の方々がマンションや商業施設、立体駐車場等、多様な機能を検討している。住む人、働く人、買い物に来る人等でのぎわうまちづくりを考えてみえ、市も連携していきたい。

○説明会資料にあるイメージ図のような、ぜひ人が集まるような場所にしてほしい。市街地再開発後に協力してもらえる民間業者などを今から検討しておくべきではないか。

⇒将来どのようなまちにするのか具体的、実践的な計画を都市計画事業として認可して

いきたい。内閣府の可能性調査で各省庁による判断を仰いでおり、駅前の発展可能性は大いにあるという返答をいただいている。民間業者からの問合せへの対応等は再開発事業に対する重要な担保と考えているので、しっかりと説明していきたい。

○民間が担当する再開発エリアについて、事業者誘致などの施策が新庁舎整備事業と同時に進行していることがあれば教えてほしい。

⇒市街地再開発事業は、現在権利者の方々が主体となって事業を進めていくという考えのもと、この再開発エリアにマンション、商業施設（テナント）、立体駐車場等を建設したらどうなるかなどの検討が始まっている。

○山之上地区の在住者からみると、北の方から駅に行くことになる。駅の北側の開発は何か検討しているか？

⇒すでに土地利用が進んでいる中で、新たに何かを開発していくことは困難である。駅の北側部分も、まちづくり全体でみながら整備を検討していく必要があると考えている。

□商業ビル（シティホテル）

○シティホテル美濃加茂の南側の土地は借用するのか。

⇒借用ではなく、取得を考えている。

○商業ビルの維持管理費が不要なので、4候補地の中では美濃太田駅周辺のランニングコストが最も低いことは理解したが、それは市商業ビル（シティホテル美濃加茂）を無くすということになる。市商業ビルの機能は完全に必要ないということか。それとも、一部の機能を新庁舎に残し、維持管理費を削減してコストを抑えていくという考えなのか。

⇒現在の市商業ビル（シティホテル美濃加茂）がもつコンベンション機能と商業機能は残して、ホテルの機能をなくす方向で考えている。市有地が活用できる点と商業ビルの維持管理費が不要になる点から、駅周辺のコストが最も低いと見込んでいる。

○市商業ビル（シティホテル美濃加茂）の跡地に建設するのであれば、周辺の地権者が土地を貸してもいいという話になっているのは本当なのか。

⇒そのような事実は認識していない。

○シティホテルを壊すのは、今まで守ってきた人の想いを踏みにじることにもなる。

□にぎわいの創出

○サテライト拠点が充実すると本庁舎に来る人は少なくなり、よほどの魅力がないと人

が集まらない。

駅南では、商業ビルやマンションなどをつくる計画もあるそうだが、魅力的な商店街をつくれるのか。今は、駅北がとても発展している。

⇒サテライト拠点が充実すれば、新庁舎に（申請や手続きの為に）来る人は少なくなる。

新庁舎（の庁舎機能のみ）が人を集める場所になるとは考えていない。新庁舎はコンベンション機能なども兼ね備えた複合的な建物を想定しており、そうした目的での利用とあわせて（いろいろな目的のために人が集まり）、にぎわいを創出できるものと考えている。

駅南の発展は市の課題であり、駅北との差別化を考えながら進めていきたい。

○議会では美濃太田駅南に新庁舎を整備した場合、付近のテナントを借りるとか、駐車場を借りるとか、民間の施設を活用するとか、ともいわれているが。

⇒現時点で新庁舎のためにテナントを借りることを決定したことはない、その予定もない。来庁者用駐車場についても借りる予定はない。

○整備計画は楽しみな反面、過去に開発した駅前が現状は閑散としているのを見ると、財政的に心配な面もある。

サテライトにすればするほど職員が分散され職員の負担が増加し、本当に市民のためになるような仕事はできないのではないかと。1カ所に集中していたら、職員同士で協力できる。

中山道界限では若者による出店が見られる。駅前の出店は見込めるのか。

⇒身の丈にあったまちづくりをしていく。将来負担にならないようにライフサイクルコストを考えながら、将来負担比率ゼロ以下を堅持しながら事業を進めていきたい。

自治体DXを進めていく。職員にとって一番大事なことは市民に寄り添い地域課題と一緒に解決していく力であり、そのために訓練、研修をしっかりと行っていく。（仮）地域協働センターへは経験ある職員の配属を考えている。保健師等専門職も含め市民に寄り添える職員を配置したい。

出店について「食べる」というコンセプトで、地域のものを味わえる食のまちを目指していきたい。中山道につながる道とも連携し、にぎわいをつくっていく。リノベーションにかかる投資支援など、若い人たちがこの場所でお店を持てる支援を行っていく。

○新庁舎を整備するにあたって、美濃太田駅は公共交通の拠点であり、あい愛バスもあることから交通の便はベスト。美濃太田周辺に整備することに賛成する。美濃太田駅前をどうするのか。

⇒駅前の活性化については考えていくべき課題。市街地再開発事業や中心市街地活性化

計画の中で、ソフト事業を含めて今後も検討を進めていく。

○新庁舎整備は市全体のまちづくり、顔づくりのトリガーにすぎないと考えている。市内外の経済的波及効果が最も大きいコンパクトエリア、交通の結節点である美濃太田駅周辺、その交流スペースに民間セクターのみならず、行政セクターも共存すべきなのは必須のことである。浸水対応型新庁舎として、9.28 災害のような降雨も乗り越えられると思う。

駅前の市街地再開発準備組合と今後どのように連携していくのか。

このエリアのにぎわいをけん引する若者たちとの関わりについて、具体的には名城大学連携事業について、良い意見はあったか。

⇒市街地再開発事業は県の認可が必要であり、市は、指導・管理をしていく立場である。その中で、市が目指しているまちづくりにおいて連携できる事業を支援していきたい。市民からの意見を聞く場はこの説明会で終わりではなく、例えば高校生や子育て中のお母さん方、障がいをお持ちの方等の意見を聞いていきたい。名城大学連携事業では色々な課題や提案をいただいたが、一番印象深かったのは“食を活かしたまちづくり”であり、計画の中で打ち出していきたい。

○駅前が候補地としてふさわしいことがよく理解できた。担当者不在で対応できないということがないように、来庁者に対していつでも対応できるように職員育成をお願いしたい。

（仮）地域協働センターの職員増員、決裁権を与えるという話があったが今の各連絡所内に十分なスペースがとれるのか。ICTの活用をぜひ実現してほしい。

駅前は現状人が少ないし、店も閉まっている所が多い。本当ににぎわうのか不安である。

また、コロナなどいつ何が起こってもおかしくない時代になににぎわいは実現できるのか。

⇒今後の職員が目指すべき姿として市民に寄り添う、市民と共に課題解決をできる職員を育成したい。

（仮）地域協働センターへの職員配置は、ICTの活用もはかり、まとめるべきものはまとめて配置したい。場所は、各地区の民間施設や空き家の活用も検討していきたい。

にぎわいについては、若者が何を求めているのかを把握し、検討した上でまちづくりを進めていかなければならない。市内8地区は里山のあるまち、川のあるまち等それぞれ地域性がある。その中で次世代を担う方が名古屋や東京ではなく美濃加茂市に友達を連れて来て楽しめる場をつくりたい。社会の健康の実現のためにも高校生から高齢者まで色々な世代の方が集まる機会をつくりたい。

○美濃加茂市の観光事業をどうしたらよいかということを考えてほしい。

⇒観光事業については、駅周辺で考えた場合、南には中山道という地域資源がある。そう

した資源を活かしながら、ハードとソフトを両方絡めながらまちをつくっていききたい。

○およそ 36 億円あれば、他の公共事業で何ができるのかというアピールや、駅周辺に整備することは電車、あい愛バスを活用するなどアクセスが良いということをもっとアピールすべきだと思う。これら以外に駅周辺に整備することのメリットはどんなことがあると考えているのか。

⇒一番のメリットはにぎわいの創出が可能ではないかと考えている。市庁舎が駅周辺に整備されることで、中心市街地の活性化に寄与できるのではないかと考えている。

○飛騨川の氾濫、コロナ禍での県下トップクラスの罹患率等この 8 年間、「堂々」とできない状況であった。美濃加茂市のにぎわい再構築を職員一丸となって精進してほしい。

○駅前には昔、自分が学生の頃はにぎわっていた。現在は閑散としているので、市庁舎が駅南の顔になることで昔のにぎわいを取り戻すことを期待している。

○駅周辺がイメージ図どおりににぎわうと思うとすごくワクワクする。駅前のにぎわいづくりにはハード整備のみでなくソフト整備も重要であるため、その面でも頑張ってもらいたい。

○美濃加茂市は中山道を中心として、人の流れによって栄えた街である。新庁舎等で美濃加茂に人の流れをつくって、川辺や坂祝、可児等の近隣自治体も巻き込んで大きな人の流れが生まれる地域になったら良いと思う。

○駅前は寂しいところだと思われるのはつらい。明るい素敵なまちになることを願っている。

□サテライト（連絡所、地域）

○サテライト拠点を（仮）地域協働センターとして、保健師を常駐するなら、この交流センターでは狭いのではないかな。

⇒交流センターのみで考えていくわけではない、（地域と）相談しながら場所を確保していきたい。

○仮ではあるが、地域協働センターの名称を再考してほしい。

健康自然ラインについて、健康の森から伸ばして三和の御殿山キャンプ場も含めてもらえないか検討してほしい。

⇒名称については皆さんと相談して的確な名前にしていきたい。それぞれの地域課題を

解決するという思いを込めた仮称である。

健康自然ラインは例として挙げているが、自然を活かせるルートを今後皆さんと検討していきたい。

○現在の市役所は老朽化しており、新庁舎の建設は大切なこと。サテライト構想については非常に良い発想だと思うが、本庁舎と同等の行政サービスを受ける事が出来るのか。

⇒マイナンバーカードの普及や ICT 技術の発展がますます進むことにより、サテライト拠点で多くの行政手続き等が可能になると考えており、基本的な手続きはサテライト拠点で完結できるようにしたい。

健康面では、保健師が各サテライト拠点に常駐し、健康相談など地域住民の健康増進施策が展開できるようにしたい。防災についても地域のことは地域で守る機能をつくっていききたい。

○駅周辺に新庁舎ができて、高齢者は電車で来庁しないと思う。身近な連絡所で手続きが全てできればありがたい。サテライト構想については賛成であり、連絡所業務の充実が一番大事だと思う。

⇒サテライト拠点については、課長級を配置し承認事務のスピードをあげたい。保健師をサテライト拠点に常駐させ、健康面でも各地区で解決できるようにしたい。

○サテライト機能について、素晴らしい発想だと思う。下米田町民は本庁に行くことが少なく、交流センターで用事を済ませることが多い。是非、サテライトの整備を新庁舎整備前、早期にやっていただきたい。

⇒新庁舎整備前から、来年度からでも取り掛かれることはやっていきたい。

○自治会加入率が低いと聞いている。災害への対応、心の健康の維持などを考えると、自治会の充実にも力を入れてほしい。

⇒現在は自治会の負担が大きい部分もある。市役所でやるべきことと自治会でやることの区別をはっきりし、自治会の負担が軽くなるよう検討していきたい。

○30～40 歳代、同世代の市民には地域活動に関心のない人が多い。第 6 次総合計画のコンセプトで、「一緒に歩ける仲間がいる」というものがあるが、新庁舎とサテライト拠点で分散されると、人のつながり、仲間ができるのだろうか。新庁舎が仲間との集まりの拠点になるような観点も取り入れて、工夫して進めてほしい。

□まちづくり（健康・総合計画）

○市が掲げる「Walkable City Minokamo」の観点から行くと、前平周辺が適切だと思う。前平周辺に建設するとどのようなメリットがあるか。

⇒「歩く」「食べる」「住む」といった機能を、新しいまちづくりの中で考えたい。民間企業等と連携していくことを考えると駅周辺に建設することが適切であると判断した。

○第5次総合計画でにぎわいのあるまちなかをつくるという目標でやってきたが、人口6万人、商店街の空き店舗数0件、駅前の自転車の通行量1330台という目標が達成できなかった。今までも駅南については税金を投入してきたので、さらに税金を駅南に投入する必要はない。駅南の再開発等は民間に任せればよい。

⇒第5次総合計画については毎年しっかり事業評価をしてきた。その結果を踏まえて第6次総合計画を策定したため、第6次総合計画をしっかり遂行していく。

□その他

○美濃加茂市全体が発展していくような計画を立ててほしい。

○新庁舎整備事業について、市民の関心が少ないのではないか。

○職員は気を遣いすぎで頑張りすぎという印象がある。職員だけで頑張ろうとせずに、市民に積極的に意見を聞く形をとってほしい。市民の意見を取り入れ、同意を得ながら、一緒に進めてほしい。

○建設的な論争により新庁舎整備事業を一步一步進めてもらいたい。

○理想をとるか現実をとるかという考えもあるが、市は現実的な考えをとったのだと思う。

⇒説明させていただいた新庁舎整備の方向がベストであると考えている。次の世代に負担をかけないようにしなければならない。これからも職員が出前講座などで丁寧に説明していきたい。

○空き家対策と人口増加の方策についてどのような方法があるのか。

⇒空き家は市内でも増加している。まずは空き家にしないことを念頭におき、相続をしっかりとやっていただく、売る・貸すという不動産を流通させるというところで市役所がサポートできないかと考えている。空き家となっているところについて、所有者の調査をして維持管理のお願いをしている。空き家は全国的な問題であるので、国や県の指導を

仰ぎながら進めていきたい。